

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	科学技術国際活動の推進		担当部局庁	科学技術・学術政策局		作成責任者	国際交流官 匂坂克久	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	国際交流官付				
会計区分	一般会計		施策名	VII-4. 科学技術の国際活動の戦略的推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本事業は、アジアにおける国際活動の戦略的推進のための外国人研究員の受入れ促進手法の開発、国際共同研究推進のための研究者受入促進・ネットワーク強化に係る調査研究等を目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	業務委託によるアジア諸国(特に中国)の研究者受入れを通じて、我が国の研究者受入状況等の調査を行い、内外の研究者の研究活動の活性化や国際共同研究のための研究者受入体制、研究者ネットワークの強化に向けた課題について、以下の観点から分析し取りまとめを実施。 (1) アジア諸国の研究者が我が国で研究活動を行う上でのより良い環境作りの成功事例と諸課題 (2) 我が国で研究活動を行うアジア諸国の研究者が帰国後に我が国の受入研究機関との継続的・発展的な交流促進に携わる上での成功事例と諸課題 (3) アジア諸国の研究者が中心となって国際共同研究計画を立案するためのネットワーク形成や研究活動の支援のための諸課題							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算				31	5	
		繰越し等				0		
		計				31	5	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	国際共同研究推進のための研究者受入促進・ネットワーク強化に係る調査研究を目的にしており、定量的な指標による評価になじまない。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	業務委託を通じた中国政府派遣研究員の受入れ数		活動実績 (当初見込み)	人	-	-	-	34
			%	-	-	-	-	
単位当たりコスト	0.21(百万円/中国政府派遣研究員(見込))		算出根拠	インプット(中国政府派遣研究員受入費(平成23年度当初予算)):7百万円 アウトプット(中国政府派遣研究員受入れ者数(平成23年度見込)):34人				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	科学技術試験研究委託費	31百万円	5百万円	・中国政府派遣研究員の受入れを廃止。 ・平成23年度まで実施していた、優秀な外国人研究者を我が国へ呼び込むための施策の検討に向けた現状把握のための調査について、予算を縮減の上、内容を見直して実施				
	計	31百万円	5百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成21年度の行政事業レビューの指摘を踏まえ、本事業の前身「研究環境の国際化の推進」において実施していた「大学国際戦略本部強化事業」及び「外国人研究者定着促進プログラム」を廃止し、それ以外の部分は平成22年度でいったん廃止した上で、「科学技術国際活動の推進」へ整理し、予算を縮減した。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業は、平成21年度行政事業レビューの指摘を踏まえたものとなっており、執行面における課題もなく、事業の成果目標も立てられていることから、適切な事業と認められる。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省
30百万円

日中文化交流協定の趣旨に添い、我が国と中国との研究交流を促進。

※ 23年度当初予算は31百万円だったが、一般競争入札により、社団法人科学技術国際交流センターが30百万円で落札したため、1百万円の不用が生じた。



[一般競争入札・委託]

研究員受入れ
A 社団法人科学技術国際交流センター
30百万円

日中文化交流協定の趣旨に添い、中国政府派遣研究員受入れの支援やアンケート等によるアジア諸国の研究者受入れ促進調査、外国人研究者の生活・研究の円滑化のための情報発信等を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A. 社団法人科学技術国際交流センター			E.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
人件費	業務担当職員	16			
中国政府派遣 研究員受 入費	中国政府派遣研究員への研究支援費	7			
国内旅費	企業訪問、受入大学訪問のための旅 費	2			
一般管理費		3			
消費税相当 額		1			
外国旅費	帰国後キャリアパス調査等のための 旅費	1			
その他	雑役務費、諸謝金、会議開催費、通信 運搬費、印刷製本費、消耗品費	1			
計		30	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。